

## 「腎」の機能低下を八味地黄丸が改善

**Q** 年をとって体のあちこちの具合が悪いのですが、友人から八味地黄丸（はちみじおうがん）がとてもよいと聞きました。どのような疾患に効くのか、服用上注意すべきことなどを教えてください。

ように思われるが、漢方医学でいう「腎（じん）」という機能が低下した状態で用いられる。「腎」とは生命の根元的な力で、今日の腎臓の機能も含んでいる。「腎」の力が衰えるのが老化であり、抗老化作用をもつ漢方薬の代表が八味地黄丸である。

**A** 八味地黄丸はその名の通り、地黄という滋養強壮や血行改善作用などがある生薬をブレンドしてつくられている。頭から爪先まで老化に伴う種々の疾患に広く使用されている。痴ほうの初期症状や脳動脈硬化、白内障、白髪、骨粗しょう症、動脈硬化性の高血圧、前立せん肥大、腰痛、性的能力の低下、下肢の冷えやむくみなどである。

一見、脈絡のないいろいろな病気に使われる

通常は服用して二〜四週間で症状が軽快することが多い。完全に「若返る」という秘薬ではないが、長期的に服用すれば、体調を改善・維持することは可能である。

ただ、胃腸の弱い人が服用するとしばしば下痢や食欲不振を起こすので、胃腸の弱いタイプには不向きである。また薬が合わないと発疹や不整脈などの副作用も出る。どれも服用を中止すればただちに消失するが、注意が必要である。